

新人看護職の約6割が辞めたいと思ったことがあると回答しており、2年目に向けての給与アップや人員確保、業務量削減を希望している

調査の概要

調査目的	新人看護職の現状を把握し、今後の看護職の定着確保対策の基礎資料を得る
調査対象	千葉県看護協会会員施設(612施設)及び新卒者を採用した訪問看護ステーション3施設、集合研修の新人看護職員
調査時期	令和6年9月27日～令和6年10月11日
調査方法	千葉県看護協会ホームページのアンケート機能を活用したWeb調査。 千葉県看護協会会員施設の看護管理者宛に、調査依頼を郵送し、新人看護職員に配布を依頼、フレッシュセミナー集合研修の参加者にも協力依頼
回収状況	回収数：645名

調査結果のポイント

1. 回答者の属性

- 性別は、「女性」が91.0%、「男性」が9.0%であった。
- 年代は、「20代」が最も多く90.5%、次いで「30代」が5.3%であった。
- 社会人経験については、「ある」が20.9%「ない」が79.1%であった。
- 養成所の所在地は、「県内」65.6%「県外」34.4%で、卒業学校等は「大学」が最も多く50.9%、次いで「看護学校」44.5%の順であった。
- 職種は、「看護師」が最も多く93.2%、次いで「保健師」が2.9%、「准看護師」が2.6%「助産師」が1.2%であった。
- 就業施設の所在地は、「千葉市」が最も多く125人、次いで「浦安市」68人、「松戸市」60人の順であった。就業施設は、「病院」が95.0%で、病院規模別では、「500床以上」40.3%、「200～299床」16.1%、「300～399床」14.9%の順であった。

表1 施設規模・施設等

(n=645)

病院						
20～99床	100～199床	200～299床	300～399床	400～499床	500床以上	病院合計
8	75	104	96	70	260	613
1.2%	11.6%	16.1%	14.9%	10.9%	40.3%	95.0%

無床診療所	有床診療所	市町村	健康福祉センター	訪問看護ステーション	介護保健施設	社会福祉施設	その他
0	0	11	8	10	1	0	2
0.0%	0.0%	1.7%	1.2%	1.6%	0.2%	0.0%	0.3%

2. 辞めたいと思ったことの有無

○辞めたいと思ったことの有無は、「ある」422名（65.4%）「ない」223名（34.6%）であった。
(n=645)

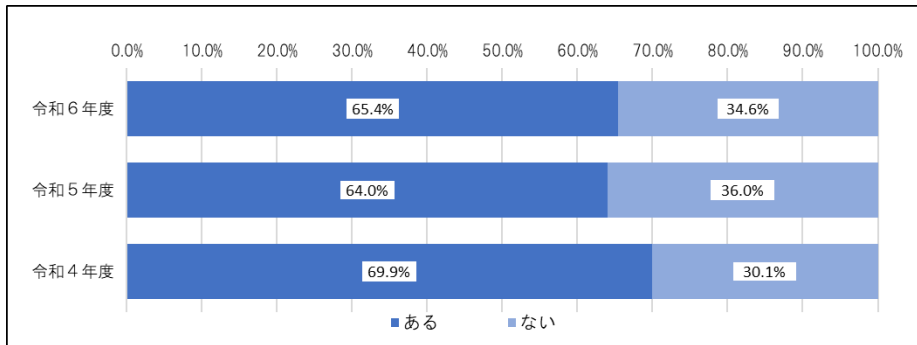


図1 辞めたいと思ったことの有無（3年推移）

○辞めたいと考えた理由は、「自分は看護職にむいていないのではないと思う」58.3%が最も多く次いで「医療事故を起こさないか心配である」49.5%、「勤務時間内に仕事が終わらない」46.7%の順であった。

(n=422)

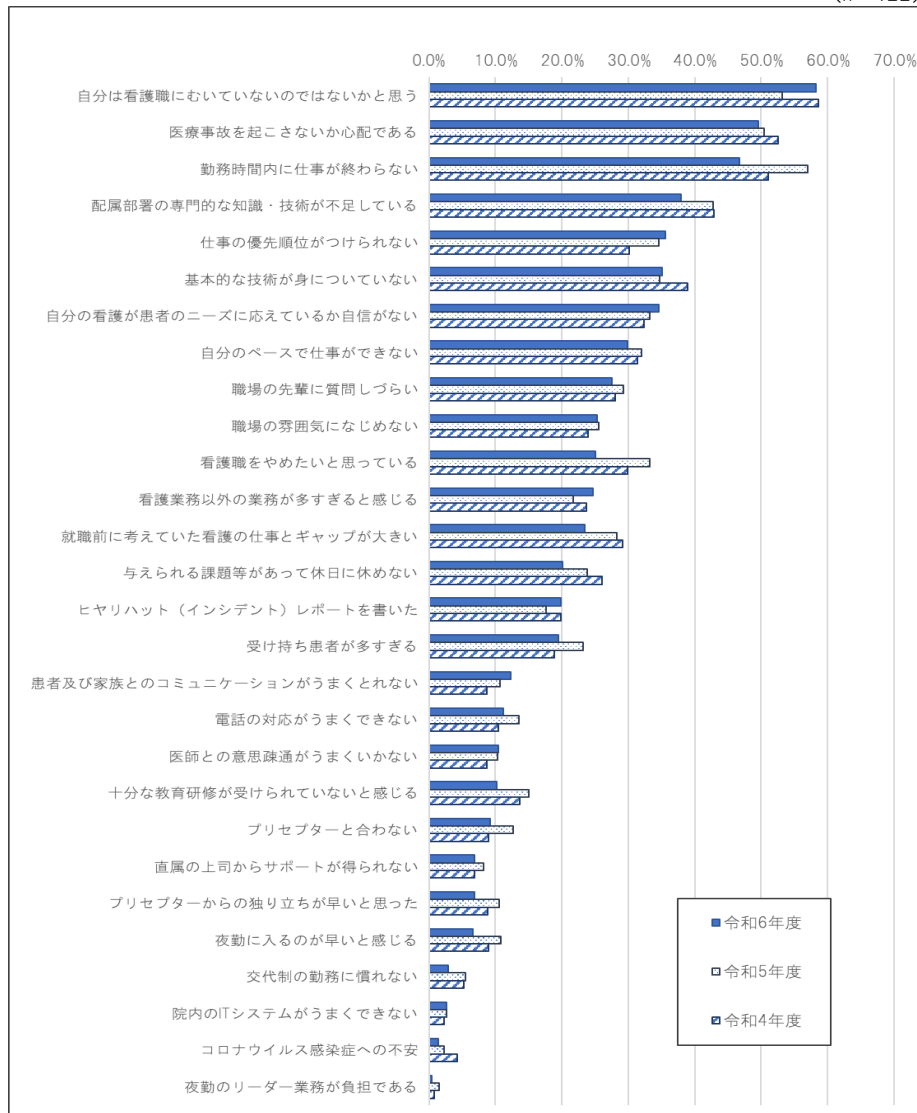


図2 辞めたいと考えた理由（3年推移）

○辞める事を思いとどまった理由は、「生活していくための手段」が最も多く68.7%、次いで「奨学金返済のため」42.9%、「自分なりに整理がついた」35.5%の順であった。

(n=607)

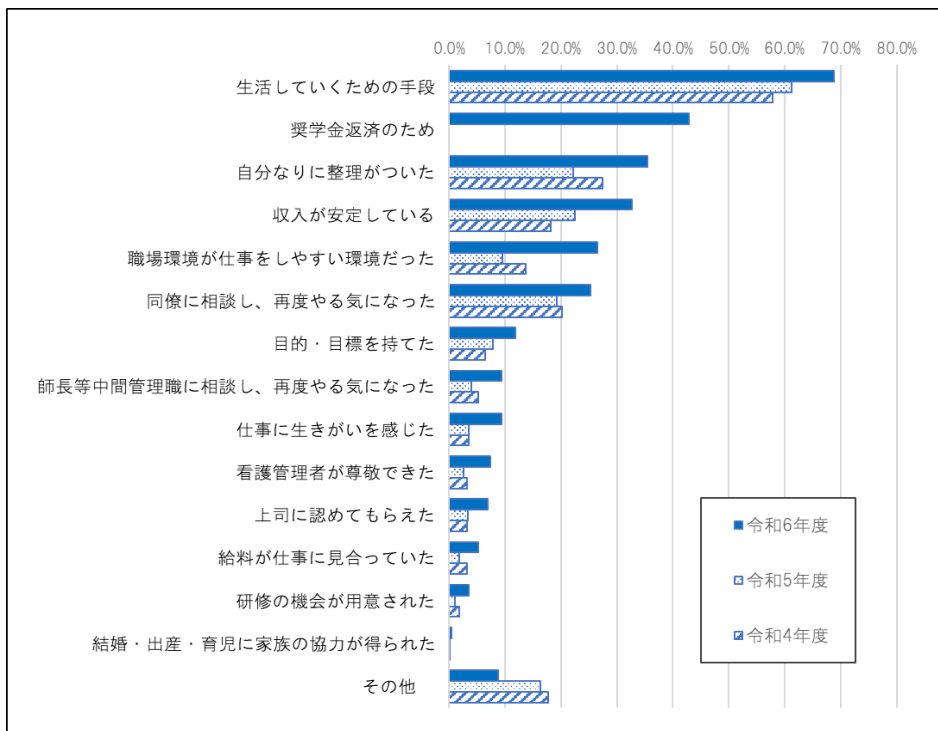


図3 辞めることを思いとどまった理由（3年推移）

3. 就業2年目に向けて勤務先に対して希望すること

○就業2年目に向けて勤務先に対して希望すること（複数回答）は、「給与アップ」69.0%が最も多く、次いで「人員確保」49.9%「業務量削減」が32.7%の順であった。

(n=645)

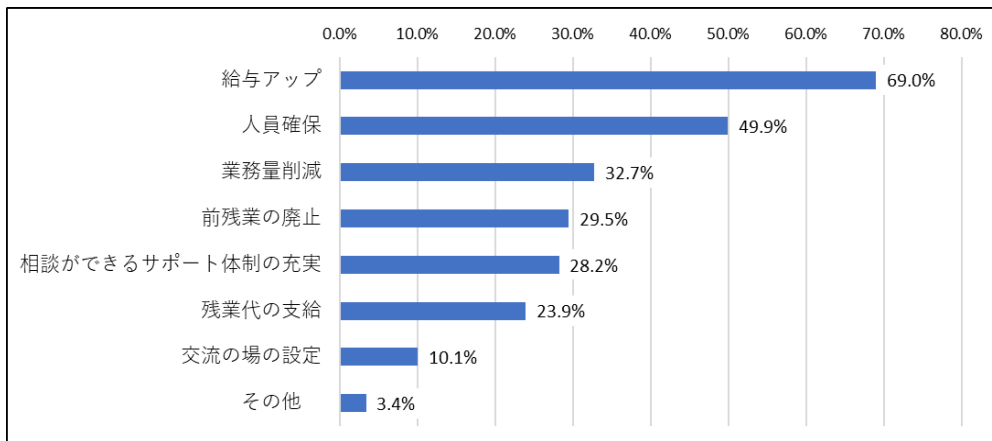


図4 就業2年目に向けて勤務先に対して希望すること（3年推移）